

がいこつくん

edoedo

4月になると、にゅうがくしたばかりの1ねんせいが「学校たんけん」をはじめます。しょくいんしつやとしょしつ、きゅうしょくしつなどなど、学校じゅうをまわって、学校のことをおぼえるためです。もちろん、理科室もたんけんします。そこでみんな、がいこつくんとはじめてであうのです。

理科室をかかりするまつむら先生は、1ねんせいにならずがいこつくんをみせます。そして「みなさん、これがじんたいもけいです。なまえは“がいこつくん”です」としょうかいするのです。

まつむら先生がこの小学校にやってきたのは3ねんまえのこと。まつむら先生はがいこつくんを見ると「やあ、がいこつくん」を声をかけてほほえみしました。がいこつくんはびっくりしました。「どうしてぼくのことをしってるの」でもまつむら先生にがいこつくんの声はとどきません。

そしてまつむら先生は1ねんせいがいこつくんをしょうかいするのです。がいこつくんはこれにもびっくりしました。こんなことをする先生は、はじめてだったからです。でも、がいこつくんは、いやなきもちにはなりません。で、「みんながぼくのことをおぼえてくれる」と思うと、むしろうれしくなりました。

ところが、友だちどうしでふざけている1ねんせいがありました。げんきすぎてときどき先生にしかられる、かずきくんです。理科室にやってきたかずきくんは、いろいろなじっけんどうぐやもけいがめずらしく、ワクワクしてしまったのでしょう。「ああ、おこられるよ……」がいこつくんはふあんになりました。そのうち、ともだちをつきとばしたり、うでを大きくふったりして、ふざけあいをはじめました。

「かずきくん、しずかに！」

ガッちゃん！

まつむら先生の声がきこえたそのしゅんかん、かずきくんはがいこつくんの上のにのり、そのおもさでがいこつくんはゆかにいきおいよくたおれました。「いたっ！」がいこつくんは、うでとあしにいたみをかんじました。なんと、がいこつくんのうでとあしのほねが、とれてしまったのです。子どもたちはおおさわぎ。「あーあ、こわしちゃったー！」「わるいんだー！」かずきくんは、こわれてしまったがいこつくんをみてまっさおなかおになりました。まつむら先生も、まっさおなかおになりました。

その日のよる、がいこつくんはパトロールをちゅうしました。
うでのほねがないからてはうごかしにくいし、足のほねはとれてしまったので
うまくあるけないのです。

「もう、あるいたり、はしったりできないかもしれない……。ということは、
この学校には、もういられないかもしれないな……」
じんたいもけいは、理科室でつかうもの。こわれたら、もうつかえません。

「ながいあいだこの学校にいたけれど、そろそろおわかれかもなあ。」
これがさいごのパトロール。そうおもいながらがいこつくんは足をひきずりながら、
ゆっくりと学校の中をあるきました。しずかな夜の学校のろうかで、カチャリ、カチャリと
音がひびきます。
ほねがとれているぶぶんがあるので、ほかのほねもブラブラしているのです。

がいこつくんは、1ねんせいのきょうしつにいきました。
「1ねん3くみ なかむらかずき」とかいてあるつくえのなかは、どうぐばこでゴチャゴチャしてい
ます。
がいこつくんはそれをきれいにせいりして、つくえのなかにしまいました。

たんにんのまつむら先生に、すこしきつくおこられていたかずきくんは、
なきべそをかいていました。そのかおを思い出しながら、かたづけていました。
がいこつくんはさいごにおくじょうへいき、月をさがしました。今日の月は三日月でした。
月はきれいにひかっていたいました。

つぎの日。まつむら先生ががいこつくんのところへやってきて、
がいこつくんをかかえてよこにたおしました。
がいこつくんはすてられる。そうおもいました。
ところが、まつむら先生はがいこつくんのとれた足のほねをポケットからとりだし、
がいこつくんにとりつけました。
「こうやってはりがねでつければ……もとどおり！」
そして、ぞうきんとスプレーをとりだし、スプレーをがいこつくんにかけました。スプレーは、はなの
かおりがしています。

先生はぞうきんをとりだして、がいこつくんのからだじゅうをふきました。ふるくなって、
ほねのいろが白からちゃいろになっていたがいこつくんのからだはみるみる白くきれいになっていき
ます。
「これでしんぴんどうようだな、がいこつくん。でもここはきえないか……」
そういつて、がいこつくんのもうかたほうの足をもちあげ、あしのゆびのほねを手に取りました。
がいこつくんは、くすぐったいなあとおもいながらがまんしていると、黒く、ちいさな文字がみえま
した。

「あっ！」

がいこつくんはおもわずこえをあげました。すっかりわすれていました。
あしのゆびにらくがきされていたことを。
そのらくがきは、こんなものでした。

「6-2 マツムラサトシさんじょう☆」

がいこつくんは、まつむら先生のかおをじっとみつめていました。

「きみはぼくの足にらくがきした子だな！」

まつむら先生はがいこつくをながめながら、ニヤニヤしていました。

授業がおわったころ、かずきくんがまつむら先生のところにきて、小さなこえでぼそりぼそりとはなしていました。

まつむら先生はわらったかおのままでした。かずきくんは、白くきれいになったがいこつくをみて、少しおどろきました。

こんばん、パトロールを終えたがいこつくんは、こうていを25しゅうはしました。

「うんどうできるって、きもちがいいなあー！」と、学校中にひびくような大きな声をあげました。

おわり。